



宝永小だより

No.7

福井市宝永小学校

令和7年7月2日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

地域の皆様の力をお借りして、「生きた」「本物の」体験をしています。

今年度も、地域の皆様にゲストティーチャーや授業ボランティアとして本校の教育活動にお力添えをいただき、大変お世話になっています。下記のクラブ活動をはじめ、様々な活動で、それぞれの専門家の皆様から、子どもたちは多くのことを学ばせていただいています。その道の専門家が語る言葉は、「生きた」「本物の」体験や情報として子どもたちに受け止められています。教員にはない専門知識・技能が、子どもたちの関心や意欲を喚起し、キャリア教育にも繋がります。

本校では、多くの地域の皆様に支えていただき、感謝するばかりです。これからも、地域の皆様の力をお借りした授業を織り交ぜながら、「ひとり立ちできる宝永っ子」の成長を目指していきます。

「読書タイム」で心豊かに

子どもたちが本に親しみ、進んで本を読むという態度を育てるために、毎週金曜日と朝礼・集会のない木曜日の宝永っ子タイムの時間に「読書タイム」を設けています。読書の習慣を身に付けたり、「どらごんぶっくす」の皆様による読み聞かせを行ったりしています。また、「これきひょうしぎの会」の〇〇〇〇様が、1・2年生に紙芝居をしてくださっています。子どもたちは、毎回、目を輝かせ、集中して読み聞かせや紙芝居の世界に入り込んでいます。



<〇〇様の紙芝居>

読書は、作者が描く世界を疑似体験し、自分の生活や考えなどに照らし合わせて思いや考えを深めることで心が豊かになります。メディア社会の今だからこそ、読書を大事にしてほしいと思います。



<「どらごんぶっくす」の皆様の読み聞かせ：低学年と高学年に分けて、月2回お越しいただいています>



4・5・6年生 クラブ活動を楽しむ

5月26日(月)から、今年度のクラブ活動が始まりました。クラブ活動は、子どもたちの興味・関心をもとに所属を決めています。今年度は、茶道、自然・宇宙、囲碁、アート、生け花、バドミントン、卓球、バスケットボールの8つのクラブ活動を、毎月1回、月曜日の6校時に実施します。どのクラブ活動でも、初回から、子どもたちは熱心に取り組み、楽しんでいました。

今年度のクラブ活動も、知識や技術をお持ちの地域の皆様にご協力いただき、実施することができています。クラブ活動を通して、異学年の子どもたちが協力し合いながら、さらに興味・関心を広げ、進んで学び合える子が育ってくれることを期待しています。ご指導くださる皆様、どうぞよろしくお願いします。



△茶道▽



△自然・宇宙▽



△囲碁▽



△アート▽



△生け花▽



△バドミントン▽



△卓球▽



△バスケットボール▽



3・4・5・6年生 点画のポイントを伝授

本年度は書写の授業の際、〇〇〇〇様に特別

非常勤講師としてご来校いただき、子どもたちに書の極意を伝授していただきました。5月27日(火)には5年2組と6年生の指導を、5月29日(木)には3年生の指導を、5月30日(金)には4年生と5年1組の指導をお願いしました。また、12月にもご来校いただき、ご指導していただくことになっています。



<指導を聞きながら、書き進める子どもたち>

今回は、第74回福井県児童生徒競書大会に出品する字を練習しました。3年生は「土」、4年生は「林」、5年生は「道」、6年生は「湖」という字に挑戦しました。書く前に半紙を折って、字のバランスや中心を分かりやすく指導していただき、子どもたちは、手本を見ながら意欲的に学習に取り組んでいました。そして、筆を立てることや点画のポイントを学んだ後、一画ずつ確認しながら集中して書き進めました。コツをつかんだ子どもたちは、その後も、姿勢を正しくして、筆の穂先を意識しながら一筆一筆を慎重に運んでいました。よいところを褒めていただくと、子どもたちはどんどん上達し、どの子も、「いい字が書けた」と満足そうでした。

先輩が来校、元気なあいさつが響く 5月29日(木)・30日(金)

進明中学校区(進明中、宝



<目を見て、元気に、笑顔であいさつ>

永小・松本小・啓蒙小)の「小中合同あいさつ運動」を行いました。進明中学校の生徒が母校の小学校に出向いて、登校時のあいさつ運動に参加する取組です。

本年度も、進明中学校の生活委員の生徒と有志が集まってくれたそうです。初日には本校を卒業した中学2・3年生 24名が、2日目には中学1年生 19名が、本校の児童玄関前で、集団登校で登校してきた子どもたちとあいさつを交わしてくれました。後輩たちを見つめ、大きな声で、お手本となるようなあいさつを交わしてくれる中学生の先輩たちの姿は、凛々しい限りでした。本校に何年も勤務している教員は、久しぶりに再会した中学生の心身共に立派に成長した姿に感動していました。中学生の皆さん、ありがとうございました。

3・4年生 「ことばの力」を考える 6月4日(水)

福井市キャリア教育プログラム事業の一

環として、「ことばの力 ～行く言葉が美しければ返る言葉も美しい～」の授業が実施されました。ゲストティーチャーの 〇〇〇〇様から、「ことば」と心(気持ち)の関係について学びました。そして、「おとなりのお友だちに『プラスことば』をプレゼントしよう」というワークショップを行いました。子どもたちからは、自然と笑みがこぼれていました。その後、全体で『マイナスことば』を出し合って、心がつらく、いやな思いになることも確認しました。最後に、ゲストティーチャーから「『プラスことば』を使うと、相手からもプラスことばが返ってきます。だれのためでもありません。『自分のため』です。『マイナスことば』をへらしてうれしい気持ちをふやしましょう!!」と、子どもたちにメッセージが届けられました。



<「ことばの力」は、自分したい?!>

これからは「ことばの力」を正しく理解し、自分も相手も大切にできるコミュニケーションを身に付けていってほしいと願っています。子どもたちにとって、日頃の言葉を見つめ直す、よい機会になりました。

<3年児童の感想> 今日、キャリア教育で、〇〇先生の話聞いて、人生はハッピーかしんどいかどちらかわからないということを今日初めて知りました。プラス言葉もマイナス言葉もどちらも言葉としてかえて来るので、プラス言葉は使いたいと思ったけど、マイナス言葉はあまり使いたくないと思いました。今日、プラス言葉やマイナス言葉などを知れてよかったです。

<4年児童の感想> 今日、プラス言葉について学んで、言葉は、そんなに大事なのだと思いました。マイナス言葉を使うと、言われた人は、もちろんいやな気持ちになるけど、プラス言葉を使うと、言われた人は、ハッピーな気持ちになります。人のいいことを見つける目、人の話を聞く耳、いいことをしゃべる口を持っている人は、ハッピーな気持ちで、人の悪いところばかり見つけられる目、人の話を聞かない耳、いやなことばかりしゃべる口を持っている人は、ハッピーでないということを聞いて、なるほどと思いました。わたしは、マイナス言葉をなるべく言わないようにしようと思います。

*今年度も月1～2回、土曜日の午前中に本校の「サロンI」で、「伝統文化宝永こどもいけばな教室」が開催されています。参加している子どもたちは、素敵な時間を過ごしています。